

人と人、心ふれあう未来へ 東区

浜松市

《俳句と歴史文化の街》

東の細道

を行く

ふる里をぶらり歩けば、

何気ない発見に巡りあうはず。

日本の懐かしいを感じる事ができるはず。

のんびり、じつりと

歴史を散策しながら

ここ浜松の東区を歩いてみませんか。

思い描く俳句の優しさ。
あたたかい心のふれあい。



浜松市

浜松市東区役所 区振興課

〒435-8686

浜松市東区流通元町20番3号 東区役所3階

TEL.053-424-0115

e-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

発行 / 平成25年3月29日

松島十湖の想いとともに 若手俳人と巡る、浜松市東区 「東の細道」

徳川家康公が、天下人となった飛躍のきっかけを掴んだ遠州浜松。そこは、幾多の街道が交わり、天竜川が流れている立地から交通の要衝として、文化を育んだ街でもあります。特に浜松市東区は、芭蕉ゆかりの明治・大正期の俳人 松島十湖が俳句を根付かせた文化の街です。今回、全国的に活躍する若手俳人五人衆とともに、東区を巡り、これからも受け継がれて行く、東区の魅力を再発見したいと思います。



八柱神社



まるがた通路



蒲神明宮鳥居



源長院の三遠農学社記念碑と句碑群



中ノ町フラワーロード



蒲神明宮



六所神社



浜松城



徳川家康公立像

はままつ
は
ま
ま
つ
は
し
ゆ
つ
せ
じ
よ
う
な
り
は
つ
が
つ
お
初
松
魚



たかやなぎ かつひろ
高柳 克弘

浜松市西区出身。大学で俳句研究会に入会後、松澤芭蕉を研究。以降すっかり俳句に魅入られる。東区主催の「十湖賞」俳句大会の選者として、東区の「俳句の里づくり」に深く携わる。

こうの さき
神野 紗希

愛媛県松山市出身。大のウナギ好き！第四回俳句甲子園団体優勝・個人最優秀賞受賞。NHK「俳句王国」司会、Eテレ「俳句さく咲く」選者など。

のぐち るり
野口 る理

鳥取県出身。大学院では古代ギリシア哲学を研究。作品発表だけでなく、俳句講座やウェブマガジンなどを通じて、俳句の鑑賞にも力を入れている。

はつた きか
堀田 季何

東京都出身。小中高を通じて、英語で教育を受け、英語の自由詩からスタート。帰国後、俳句・短歌の道に。俳句・短歌で多くの受賞歴があり、世界各国の詩祭で活躍中。

さとう あやか
佐藤 文香

兵庫県出身。高校時代、第五回俳句甲子園にて最優秀賞受賞。ラジオやインターネットなど、さまざまなメディアで俳句を伝える。今までにない俳句のあり方を模索中。



俳句五人衆、東区を巡る

東区あの風景この情景を様々な視点の俳句で綴る俳句五人衆が東区をめぐる。さらにパンフレットの編集も協力してくれています。



出世大名 家康くん
浜松市
マスコットキャラクター

徳川家康公は浜松城を築き、17年間居城したのち天下統一を成し遂げた。まさしく「出世大名」。そんな彼が浜松市制100周年を機に生まれ変わり、浜松を日本一元気なまちにしようとする地にやってくる。城下町にひり出るのは市民とワイワイするのが大好き。浜松の未来に希望をもち、市民のみなさんの夢をいつも応援しています。

松島十湖とは

松島十湖は明治・大正期、第二の芭蕉と言われ、多くの門弟を全国に持った俳人です。天竜川が決壊した折には、自分の家の蔵に備蓄していた米を被災者に配ったり、報徳社で人間教育を積極的に行った農政家でもありました。特に、自らが生まれた現在の浜松市東区周辺に、文化の継承を企図して数多くの句碑を建立しました。現在でも、当時のままの姿で数多くの句碑を浜松市東区で見ることができます。

誕生地 現:浜松市東区豊西町
生年 1849(嘉永2)年3月17日
没年 1926(大正15)年7月10日

